



平成25年度
常陸大宮市
「日本の弥生時代を
解明せよ！」
このままでいいから弥生学講座

デザイン/さかいひろこ

「紀元前5世紀～紀元3世紀に、農作り文化をたずさえた渡来人が、縄文人を駆逐して西日本を中心に築いた、新しい文化の時代」と考えている人の多い弥生時代。

近年の発掘調査や研究の進展によって、年代が紀元前10世紀近くまで遡るなど大きな見直しがなされるとともに、当時の南西諸島や北海道の状況の解明も進み、日本列島の弥生時代が、縄文文化をベースとして変化した、きわめて多様な文化に彩られた時代であることがわかってきました。

しかし、当時の人々の生活・くらし・他地域との交流など、多くがナゾのままの空白地帯が残っています。それが、当地を含む利根川以北の北関東から東北南部の地域です。

2006年に行われた調査によって、良好な弥生時代中期の遺跡と判明した泉坂下遺跡、東日本の弥生時代を解明するというミッション(使命)に応えられるでしょうか？

*国立歴史民俗博物館が2006年に発掘して採らした土器

泉坂下遺跡とは？

常陸大宮市泉字坂下にある、縄文時代から近世までの複合遺跡です。2006年1月、縄文時代の石神製作址と弥生再葬墓の確認を目的として行われた学術調査によって、国内最大の人面付土器を含む弥生時代中期の再葬墓群の存在が明らかとなりました。

県内に弥生時代中期の遺跡はきわめて少ない上、保存状態が良好な再葬墓を中心としたこの遺跡は、東日本の弥生時代を解明する上でとても重要です。常陸大宮市では、国史跡指定を目指して、2012年より4年間の確認調査を実施しています。



国立考古学調査風景 (2014.8.5)

展示構成

プロローグ

Ⅰ「考古学へようこそ」
Ⅱ「発掘調査」ってなんだ？
【復習】泉坂下遺跡

ミッションⅠ

泉坂下遺跡のひろがりをつかめ！
地理的なひろがり
時間的なひろがり

ミッションⅡ

泉坂下遺跡の弥生時代をさぐれ！
研究者をも悩ます「弥生時代」
縄文時代とのつながり
始まりと終わりの弥生土器
弥生時代のむらとくらし

ミッションⅢ

「再葬墓」を想像せよ！

エピローグ 私たちへのミッション

泉坂下遺跡との好い関係を構築せよ！



再葬墓とは？



再葬とは、遺体を何らかの方法で骨にしてから埋葬する葬制で、縄文時代から行われています。市内の泉坂下遺跡や小野天神宮遺跡は、遺体を埋葬により骨化させて甕に納め、ひとつの穴に複数の甕をまとめて再び埋葬する、弥生再葬墓とよばれる数少ない遺跡です。



常陸大宮市歴史民俗資料館 大宮館

〒319-2265 茨城県常陸大宮市中富町 1087-14
☎0295-52-1450 Fax0295-52-5233
URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

泉坂下遺跡出土・人面付土器
動物：いずみ
図形の口がトレードマーク。

水戸済生会総合病院 市民公開講座

- 「もし家族が認知症になったら、家族としてできること」
- 日 時 11月1日(土) 10:00～正午
 - 場 所 水戸済生会総合病院5階丹野ホール
 - 講 師 六角 僚子 氏 (特定非営利法人認知症ケア研究所)
 - 対 象 者 一般の方
 - 参 加 費 無料
- 問** 水戸済生会総合病院健康サポート委員会 ☎029-254-5151

